

新年度が始まってから、早半年…あっという間にもう10月ですね。まだまだ暑かった9月前半は、水遊びを楽しみました。初めての氷遊びでは、「なんだこれ？」と不思議そうに見ているお友だちや、手から滑り落ちていく氷を何度も手に取り、嬉しそうにするお友だち。思い思いに、夏ならではの遊びをたくさん楽しむことができました。9月も後半に差し掛かると、少しずつ気温も落ち着き、久しぶりのお散歩にも出られるようになりました。保育者の「お散歩行くよ～」の声に、ニコニコしながら玄関までハイハイをしてくれます。木陰では秋の風を肌で感じたり、草花などの自然に触れようと、手を伸ばして“触ってみたい”を楽しんでいます。

またお部屋では、より活発に動けるようになり、安心できる環境の中で、様々なものに興味津々。“なんだろう？”と歩いたり、ハイハイをしたりして探索をしています。お部屋にあるハイハイランドでも、トンネルから顔をのぞかせてお友だちと笑い合う姿が、とっても可愛いです(*^~^*)これからたくさんの“できた”と一緒に感じていきたいと思います。

うみチーム 10月号 

残暑が厳しかった9月。例年だと戸外へ秋探しに出かける時期なのですが、今年は引き続き水遊びを楽しんで過ごしました。プール遊びを終えて、随分と水に慣れてきてくれたただいちチームのみんな。少々顔に水がかかってもへっちゃらで、水しぶきを上げ楽しんでくれました。泡遊びをしたり色水で遊んだり…夏らしい遊びをたっぷり楽しめました☆

月後半には気温も少しづつ下がり、久々にお散歩へ。園の周りを歩き散歩に出かけると、子どもたちもあたりの様子を覚えていて、「ニャンニャン🐱いない…」といつも猫がひなたっぼこをしているお家の窓を指したり、「新幹線見に行こうよ!」と子どもたちから話してくれたり😊見通しをもって、楽しみな気持ちを教えてくれる子どもたちに、成長を感じます。もう少し涼しくなったら、足をのばして秋探しに行きたいなあ～🍁と思っています。

だいちチーム 10月号 

あめチーム 10月号

朝・夕と涼しくなり、秋の訪れを感じる今日この頃。

楽しかったプール、水遊びが終わり、お散歩に出かける日が増えてきました。とはいえ、残暑が厳しくお散歩に出られない日には、自作の虫かごを持ってお部屋や廊下で虫捕り遊びを楽しんでいます。セミの抜け殻やイラストのクワガタ・バッタなどをカーテンの後ろや靴箱に隠すと、「どこかな〜？」とのぞきこんで探してくれましたよ♪虫かごの中には虫がたくさん！！「いっぱい取れた！」と嬉しい気持ちを伝えてくれました。

また、運動遊びにも取り組んでいて、一本橋やキャタピラ（段ボールの中をハイハイで進んでいきます）鉄棒のぶら下がりにも挑戦しています。楽しさの中で体の使い方を知っていく…そんな姿になりつつあります。鉄棒のぶら下がりでは、2秒ほどで手を離してしまっていたお友だちが、10秒も我慢できるようになりました！！積み重ねの大切さに改めて気付かせてもらいました。

涼しい日にはお散歩に出かけ秋探しをしたり、様々な運動遊具に触れ、たくさん体を動かして、楽しく過ごしていきたいと思います。

にじチーム 10月号



いつの間にか、季節はすっかり秋模様となってきました。子ども達はこのびのびと身体を動かすことを楽しんでます！9月の前半は暑い日も多かったですが、戸外に出てたくさん遊びました。みんなが大好きな国分児童公園、春にはジャングルジムもボルダリングのように登れる所も「難しい…」と呟くお友だちが多く、挑戦すること自体を諦めている様子でした。しかし、夏を経て日頃の鉄棒の取り組みの成果もあってか、積極的に挑戦してくれるお友だちが増えました😊ジャングルジムは「次は(手や足を)どこ(に置く)?」と聞きながら、自分でも考えて進んで行き、最後まで出来ると「できた！！」と満面の笑みで教えてくれて、自信に繋がっているようです。そんな経験を大切に、何事にもチャレンジしようとする姿を近くで見守り、応援していきたいと思います☆

そして9月後半に始めたお当番活動。まだまだ戸惑う姿も多いですが、やる気は満々！散歩から帰ってきた後の、シャワーや着替えが早くなりました(笑)これからも、少しずつ子ども達のペースで慣れていってこれればいいな、と思います。エプロンに三角巾、マスクのご準備ありがとうございました(*^_^*)

そらチーム10月号



秋分の日が過ぎ、朝夕過ごしやすくなってきたこの頃。子どもたちは、運動会で披露するパラバルーンに夢中です！とっても楽しくて大好きなようで、パラバルーンが出てくると、朝の会で使っていた椅子を片付けるのも早い早い。色んな技を試しつつ、曲に合わせてみてもしっかりついてきてくれています。回数を重ねるごとに『みんなで』という気持ちも出てきて「せーの！」とかけ声をかけてくれるお友だちも😊他にも、少しずつやっていた跳び箱に飛び乗ったり、鉄棒をしたりして、毎日体をたくさん動かしています！

そんな中、先日芋ほり一週間前ということで、ツル切りをしに畑へ向かいました。たくさん伸びているツルを切り、栄養をお芋にわたるようにし、甘〜くするためです。子どもたちも「おいもおっきくしたい！」と張り切ってツル運びのお手伝いをしてくれました♪少しでも“お芋を育てることはこんなに大変なんだ”と知ってもらえたかな？と思っています。

また、朝の準備やかばんを自分で持つなど、子どもたちが自分でできることを頑張っていけるように、ご家庭でもご協力の方よろしくお願いいたします！

くじらチーム 10月号



9月から12名となり、「Aちゃん、バイバイしたなあ…」さよならをした翌日、忘れ物を取りに来られたことから「また来はるんちゃう？忘れた～！言うて！」「いつか帰って来はったら、きっと会えるって」等、別れを受け止めつつも「また帰ってくるよ」と言ってくれたAちゃん言葉を信じ、12名で過ごす後半を歩み始めた子どもたち。クラスで歌っている“ガンバリマンのうた”では「Aちゃんも（くじらさんの）仲間だから」という理由から、歌詞の中にAちゃんの名前も入れてくれています。

先日のこと。日々一緒に過ごす中で、仲間だからこそ伝えたいことがあるとの事で、みんなで輪になり話し合いの場を持つことになりました。「何でやろう…？って思う。前は優しかったのに、怒らはるようになった」「怒ったら悲しい気持ちになる。話してほしいし、話聞いてほしい」「言い方が怖い。優しく言ってほしい」ひとりが思いを伝えると、相手のお友だちは「怒ってないし」「怖い言い方してないし」と言い合いになる中、「気付いてくれるの待ってる。私はそう思うよ」友だちの意見を冷静に聞いていたBちゃんの発言に、感情的になり強い口調になっていたことに気づき、暫し沈黙が続きました。その間色々な考えが頭の中をぐるぐる回っていた事でしょう。それぞれに思いはあるし、仲間だからこそ、その思いは伝えたいし聞いてほしい。どのようにしたら伝わるかな？聞いてみようと思えるにはどうしたらいいかな？みんなで考えていければ…と思っています。

